



●甲府やまなみクラブ会長主題：千里の道も一歩から

～ 一歩ずつ着実な歩みを進めましょう ～ 米山 俊彦

●あずさ部長主題：めあて望み ピーター・マウントフォード (甲府)

●東日本区理事主題：ワイズの方向を見極める 山田 公平 (宇都宮)

●アジア太平洋地域会長主題：大きなインパクトを起こそう ジョウン・ウォング (香港)

●国際会長主題：より良い世界のために、共に A・シヤナヴァスカーン (インド)

甲府やまなみ
ワイズメンズクラブ
2024年 9月
No.24

●今月の強調目標

EMC

●今月のことば

「白露」

米山 俊彦 君 選

今月の例会案内 (第24回)

●日時：2024年9月4日(水) 18:30～20:30

●会場：山梨YMCA

・開会点鐘 米山 俊彦 会長

・ゲスト・ビジター紹介 司会者

・ワイズソング 一同

・会長あいさつ 米山 俊彦 会長

・今月のことば 米山 俊彦 君

・ワイズディナー

・会員卓話「甲府駅北口のまちづくりについて」
米山 俊彦 君

・諸報告

・ハッピーバースデー&アニバーサリー

・YMCAの歌 一同

・閉会点鐘 米山 俊彦 会長

Photo
of
monthly



8月7日(水)、ピーター・マウントフォードあずさ部長公式訪問と卓話の8月例会 (山梨YMCAにて)

8月のデータ

会員数:11名 例会出席 メンバー:5名、
ビジター:2名(ピーター・マウントフォード、
田中克男-甲府) 例会出席率:45%
メーキャップ:2名(藤原・福田) 修正出席
率:64% ニコニコ:4,000円

ハッピーバースデー

メン 仙洞田安宏 (9/15)

パートナー 渡邊 隆子 (9/5)

アニバーサリー

該当者なし

今月のことば

米山 俊彦

白露は二十四節気のひとつで、今年は、9月7日から9月22日の秋分の前までです。

白露とは、“露が降り、白く輝くように見える頃”という意味です。

夜の気温がぐっと下がって空気中の水蒸気が冷やされると、水滴になって葉や草花につくようになります。それが、露(朝露)です。

日中はまだ残暑が続いていますが、朝晩は冷えるようになり、朝露が降り始める時期の秋の訪れをいつくしむように、朝の光にきらきら輝く露の美しさを表わしています。7月、8月の異常な暑さに辟易して、秋が待ち遠しい思いから選びました。

● 産業革命の残り香を嗅ぐ 8月例会 ●

仙洞田安宏

猛暑日が続く中、やまなみクラブの8月例会が8月7日(水)、山梨YMCAで開催されました。今月は、ピーター・マウントフォードあずさ部部長(甲府クラブ)の公式訪問ということで、田中克男あずさ部書記とともに出席されました。お二人とも半ズボン姿で登場し涼しさを連れて来てくれました。

米山会長の開会点鐘と挨拶、仙洞田の今月の言葉の紹介の後、ワイズディナーを戴きながら歓談しました。ピーター部部長の公式訪問は当クラブが8クラブ目だそうで、訪問したクラブの様子も紹介して頂きました。

やまなみクラブではチャーター以来、公式訪問された部長には、そのお人柄を知るために公私に拘らぬテーマで卓話をお願いしており、今回はピーターさんの故郷(英国・Derby)が産業革命の中心地であったことから、「産業革命の足跡」と題して、その遺構を紹介して頂きました。産業革命以前は400人の村だったDerbyは恵まれた鉱物資源や古くから交通の要衝としての立地を活かし、陶磁器、紡績、運河、鉄道などが発展し、産業革命へと繋がっていったそうです。世界最古の紡績工場や運河、鉄道施設などの遺構の写真を拝見し、居ながらにしてイギリスの歴史を感じることができました。



【故郷の地図を前に卓話をするピーター部部長】

諸報告では、10月開催予定の「グローバルフェスタ」の準備状況、東日本区サポートファンド、能登半島地震復興ボランティア募集の案内、また、あずさ部部報1、甲府21クラブの甲州ぶどう販売のチラシが配布されました。

今月はタイ・チェンマイでの国際大会に参加している藤原さん、福田さんが欠席のため、少し寂しい例会となり、ピーター部部長には申し訳なかったと思っています。

出席者:米山・松本・渡邊・大澤・仙洞田
ビジター:マウントフォード・田中(甲府)

8月例会ニコニコメッセージより

- ▼名ばかりの“立秋”、酷暑の中でもガンバッテいきましょう。無理をせず、少しずつ、、、。ピーター部部長ありがとうございました。(米山俊彦)
- ▼ピーターさん、ご苦労様でした。(大澤祥子)
- ▼ピーター部部長さん、ありがとうございました。(渡邊隆)

▼イギリス産業革命の足跡について、あずさ部部長のピーターさんに卓話をいただいた。大昔より道路や産業用運河や設備等の発展していた国を再確認しました。(松本公夫)

▼ピーターさんの卓話、興味深く拝聴しました。煉瓦造りの建築物の数々、地震がないので発達したと思います。一度この目で見たいものです。(仙洞田安宏)

やまなしグローバルフェスタ 2024

やまなみクラブがチャーター以来実施している、国際交流イベント「やまなしグローバルフェスタ」を今年も開催することになり、準備が進められています。

8月23日(金)午後6時からZOOM形式で実行委員会が開催されました。実施概要は以下の通りです。

- 日時:10月5日(土) 10:00から15:00
- 会場:甲府駅北口よっちゃばれ広場&歴史公園
- 主催:甲府やまなみワイズメンズクラブ
- 協力:山梨YMCA・県立青洲高校・ぼくまち市川三郷
- プログラム:各国料理(キッチンカー)・民族音楽、舞踊・民族祭りの再現(タイ・ソングクラーン)

なお、今回もチラシのデザインを県立青洲高校の生徒さんが制作しました(右)。また、予定していた補助金の獲得が不透明なため、クラウドファンディングを行う案が出て、準備することになりました。



★ ワイズ国際大会に参加して★

藤原 一正

8月8日から11日にかけてタイ北部の古都チェンマイにおいて開催されました国際大会に参加してまいりました。昨年アジア太平洋地域大会に続いて2回目の国際的な大会に参加しましたが、世界各国から多くの参加者の方々がお越しになっており、様々な国の方と交流ができたことが非常に楽しかったです。

今回は初めて妻と息子も会場に参加させていただき、様々な国の方々がいることを理解できたのではないかと思います。また、昨年アジア太平洋地域大会の時に引き続いて東西日本区の日本語の通訳のボランティアにも参加させていただきました。大した活動はできませんでしたが、機械の操作などはだいぶ慣れてきたように思います。翻訳の質自体はまだまだなところが多いですが楽しんでできたことがよかったです。

チェンマイは妻の地元で何回も訪れていて土地鑑

があるために参加しやすかったですが、国際大会自体は新鮮で新たな経験ができて非常に楽しかったです。来年はアジア太平洋地域大会が熊本で開催されるとのことで、そのPRも行ってまいりました。日本で開催されるということで、日本のメンバーも比較的参加しやすいのではないのでしょうか。ぜひ当クラブの皆様もご参加いただけたらと思います。



国際大会とスタディーツアー

担当主事 福田奈里子

世界中から500人以上の方々が集まり、盛大な大会となりました。甲府クラブIBCの台南クラブの劉克全さんご夫妻をはじめ、21クラブIBCのアデレードクラブのジョーンズご夫妻、やまなみクラブでお世話になっている、チェンマイ在住の西村隆夫さんなど、関わりのある方々と直接お目にかかり、言葉を交わし大変有意義な再会と交わりの時を頂きました。

今回の大会参加では何よりもワイズメンズクラブが一つの運動体として、様々な社会課題解決のプロジェクトを持っていること、それらが実践的アクションを伴う団体として、YMCAと並行して行動し続けていることを改めて認識いたしました。これら2つの団体が、宗教、文化を超えて世界の人々となつながら、私たちの生きる社会に存在する意義を深く考えさせられました。ワイズメンズクラブ・YMCAが山梨の地で求められている働きは何か、原点を見つめ直す良い機会となりました。

大会の最終日を1日残して退席させていただき、タイ北部の農村地帯にある山岳民族の子ども達のシェルターにて、横浜YMCAのスタディーツアーに一部ご一緒させていただく形で参加してきました。現地では、横浜Y佐竹総主事、仙台Y加藤総主事にお目にかかり、人身売買被害者の女性のインタビューにて通訳を務めさせていただくなど、現地での働きに用いて下さり、感謝でした。また、現地のアカ族の村にて、ホームステイの体験もさせていただきました。



今回の大会参加については山梨YMCAユースの本田生磨さん(都留文科大学4年生)の派遣を、ワイズをはじめとした皆さまのご支援によって実現することができましたことを、ここに厚くお礼申し上げます。本田さんは、世界レベルのワイズメンズクラブ・YMCAの働きを生で体験し、YMCA・ワイズ運動のダイナミズムを体感してもらえたと感じています。また、その後訪れたパヤオセンターでは積極的に子ども達と関わり、同時に子どもたちの抱えている貧困や人身売買の危険性などの現実を目の当たりにして、どのようにこの問題解決に関われるかという大きな「宿題」を抱えて帰国の途につきました。

ワイズメンズクラブ他、関係者の皆さまからのお支えのお陰で、山梨YMCAのユース育成がより具体的に動き出していることに、深い感謝と責任を覚えております。今回の派遣を生かして、ユースと共に今後の山梨YMCAの次なるステップを築いていけるよう、精進してまいります。

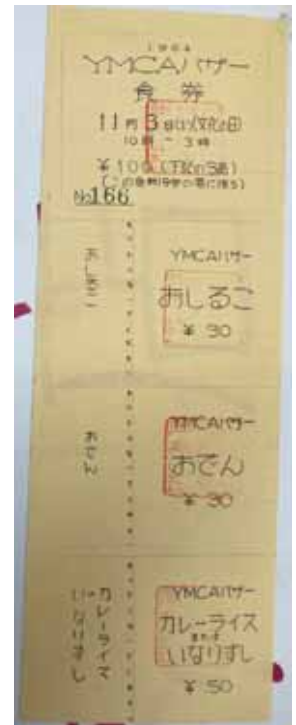
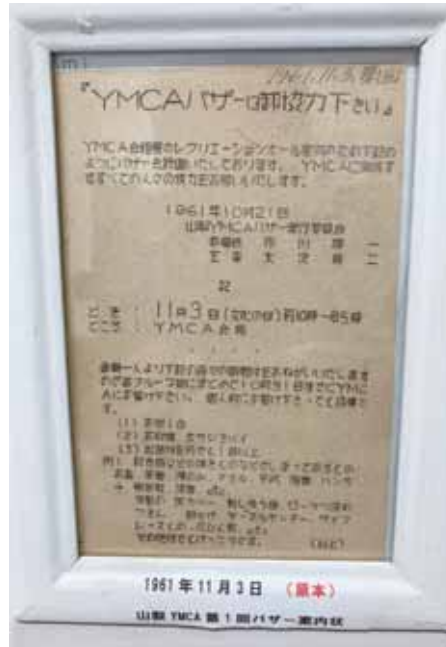
温故知新～史料室の書棚から

仙洞田安宏

毎年文化の日で開催される山梨YMCAバザー、今年で64回目になります。第1回(1961年)の案内状(ハガキ)が史料室に残されています(写真左)。バザーの目的は“YMCA会館裏のレクリエーションホール完成のため”とあります。当時のYMCA会館は丸の内2丁目(平和通りの旧富士銀行の西)でした。献品のお願いには、会員一人当たり、「お米1合・砂糖大サジ3パイ・出品物を何でも1品以上」とあります。

また、1964年(第4回)の食券では(写真右)、おしるこ・おでんが30円、カレーライスまたはいなりずしが50円で、3品綴りで100円と10円お安くなっています。

なお、今年のバザーは11月4日(月・振替え休日)です。大勢の参加をお願いします。



山梨 YMCA 総主事
中田 純子

「思い出から続く未来へ」

暑さが少しずつ和らぎ、秋の気配が感じられる季節となりました。今年の夏も、皆様のご協力により、多くの子どもたちに素晴らしい思い出を残すことができました。

この夏、多彩なプログラムが企画・運営され、子どもたちは様々な体験を通じて、多くの思い出を作ることができました。特に、ワイズメンズクラブの皆様には、恒例のふくろうキャンプでの昼食のカレーや唐揚げを子どもたちと共に作っていただき、人にとって大切な食を共にしていただき、大変感謝しております。自然の中でのびのびと過ごす子どもたちは、昨年よりも成長している姿が見られ、毎年行うことの意味を実感いたしました。また、大きなスイカの提供により、日頃なかなかできないスイカ割りを楽しむことができ、子どもたちにとって特別なごちそうとなり、笑顔が絶えないひと時でした。さらに、暑い夏を乗り切るための手作りうちわをご提供いただき、子どもたちが思い思いの絵を描いて、夏の風物詩を楽しむことができました。

甲府21ワイズメンの鎌田様には、戦争のお話会でのご協力をいただきました。お話を通じて平和の重要性を学ぶ貴重な機会となり、子どもたちの真剣な姿勢や「折り鶴」の歌声に深い感動を覚えました。8月のYWCA主催のピースフェスティバルを通じて、子どもたちに平和の重要性を学ぶ機会が用意され、世界中の異なる文化や歴史を学び、互いの違いを尊

重することの大切さを感じながら、音楽やアートを通じて平和のメッセージを表現し、一人ひとりが輝くことができる世界の実現を目指していきます。

また、今年の夏はパリオリンピックに注目が集まった夏でもありました。笑顔あふれる選手、泣き崩れる選手、年齢問わず幅広い層の参加があり、さまざまな表現が見られました。多くの人に勇気と力を与えたのは間違いありません。オリンピックは、スポーツを通じて世界中の人々がつながる平和の祭典です。選手たちの努力と情熱は、多くの子どもたちに夢や希望を与えるものでした。山梨YMCAも、平和を表現できる時のために、子どもたちのより良き成長とチャレンジ精神の育成を目指しています。

これらの経験は、ただの思い出ではなく、未来に向かう大切なステップとなります。私たちが一緒に作り上げたこの夏の思い出が、子どもたちの未来に向かう力となり、より豊かな未来を築くための礎となることを願います。

これからの予定

- ✓9月6日～8日 ユースボランティア・リーダーズフォーラム(東京Y山中湖センター)
- ✓9月12日(木) グローバルフェスタZOOM会議
- ✓9月25日(水) 役員会(山梨YMCA)
- ✓10月5日(土) やまなしグローバルフェスタ2024
- ✓ // 10月例会(懇親会)
- ✓10月19日(土) あずき部部大会(石和温泉)
- ✓10月26日(土) 東京八王子クラブ30周年例会